

氏名	國澤尚子	部署	看護学科	職名	教授
研究分野	基礎看護学、看護人間工学				
学位	博士（工学）				
学歴	1985年埼玉大学教育学部卒業、1988年東京女子医科大学看護短期大学卒業、1997年筑波大学大学院教育研究科修士課程カウンセリング専攻カウンセリングコース修了、2009年博士（工学）取得（千葉工業大学）				
経歴	1992東京女子医科大学看護短期大学助手、1998三重県立看護大学助手、1999埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科講師、2006埼玉県立大学保健医療福祉学部健康開発学科准教授、2013医療生協さいたま地域社会と健康研究所副所長兼主任研究員、2019埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科教授、2023埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科長				
所属学会（役職）	日本看護技術学会（評議員）、日本人間工学会、看護人間工学会（理事、評議員、総務委員会総務副委員長）、日本看護学教育学会、日本看護科学学会、日本保健医療福祉連携教育学会、福祉のまちづくり学会、産業保健人間工学会、日本健康教育学会、日本公衆衛生学会、日本認知症ケア学会				

【2023年度実績】

1. 研究業績							
(1) 著作							
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月	
1	該当なし						
(2) 論文							
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	連携した認知症ケアの推進者を育成する研修プログラムの評価	共著	あり		日本認知症ケア学会誌,22(4),686-695	丸山優、畔上光代、 <u>國澤尚子</u> 、中込沙織、大塚真理子	2024.1
(3) 学会発表							
	学会発表の演題	単・共		学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	連携した認知症ケアの実装を目指したリーダー研修の評価-研修1年後の調査から-	共同		第28回日本老年看護学会学術集会（横浜）	○丸山優、畔上光代、 <u>國澤尚子</u> 、中込沙織、大塚真理子	2023.6	
2	再考！用具を使って安全、安楽、自立を意識した移動介助の”きほん”	共同		日本看護技術学会第21回学術集会（熊本）	○西田直子、○水戸優子、若村智子（司会）、○平田美和、○首藤英里香、○富田川智志、 <u>國澤尚子</u> （司会）	2023.10	
(4) その他							
	名称	単・共		発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	該当なし						
2. 競争的資金等の研究							
	競争的資金等の名称			研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間	
1	共同研究（埼玉県立大学・ナカ工業株式会社）			在宅高齢者・障がい者の排泄を支援する住宅トイレ補助具の研究	研究代表者	2021.4～2024.3	
2	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）			高齢者の外反母趾・浮き趾による転倒予防のためのエビデンスに基づく看護介入の効果	研究代表者	2021.4～2025.3	
3	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）			高齢入院患者のmobilityを促進する急性治療期の看護実践プロトコルの開発	研究協力者	2021.4～2025.3	
4	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）			地域・在宅向け腰痛予防対策指針をふまえた移動技術ハイブリッド型研修システムの構築	研究分担者	2023.4～2026.3	

3. 教育業績				
(1) 講義				
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	看護学原論	○	15	1～2教室で対面で実施した。LTD学習法を取り入れて、学び方を学ぶことができるようにした。事前学習や議論の記録用としてグーグルスライド、グーグルジャムボードを使用し、共有しやすくした。
2	ヒューマンケア論		2	全学の1年生を対象に、老年看護の教員とともに「ヒューマンケアの視点から考える看護」について1コマ2開講の講義を行った。トークを行い、同じ事例、同じ専門職でも異なる視点に着目することを示した。また、企業との異業種多職種連携によるモノづくりの体験談から、思いを形にすることもヒューマンケアであることを伝えた。
3	看護学教育論（大学院）		1	「中堅看護師の実践能力育成とキャリア支援の現状と課題」について講義した。（オンラインで実施）
4	IPW論（大学院）	○	12	科目の構築・運営を行った。チーム・チームワーク、IPWの評価について講義した。学生によるIPWに関する事例発表のコメンテーターを担当した。（すべてオンラインで実施）
5	IPWシステム開発論（大学院）	○	15	科目の構築・運営を行った。IPWのシステムとは何か、IPWのシステム開発とはどのようなことか自身の実践例を紹介したり、IPWに関連するキーワードについて話題提供し受講者と議論した。最終回の発表会はオンラインで公開し、参加してくれた大学院生や教員に発表・議論に参加してもらった。
(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	アカデミックリテラシー（編入生）	○	8	科目の構築・運営を行った。LTD学習法や研究論文のクリティーク、発表会を行い、編入生が大学での学び方を体得できるようにした。（対面）
2	看護学特別研究（大学院）		月1～2回	ゼミに参加し、指導教員、指導補助教員として研究指導を行った。（対面とオンライン）
3	看護学演習（看護管理システム）（大学院）		15	ゼミに参加し、指導教員、指導補助教員として文献の読み方や研究方法の指導を行った。（対面とオンライン）
4	卒業研究	○	2023.4～2024.3	科目担当者とともに、科目の計画・運営を行った。円滑に卒業研究が実施できるように要項を作成した。学生からの質問への回答など適宜、追加事項の連絡や調整を行った。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	ヒューマンケア体験実習		2023.9	ファシリテーターとして2グループを担当し、ディスカッションが活発に行われるようにサポートした。（学内対面）
2	基礎看護学実習Ⅰ		2024.2	臨地実習（シャドウイング）と最終日の学内実習を担当した。臨地実習では学生が経験したことを言語化したり、目標に照らして学びを確認できるように促した。
3	基礎看護学実習Ⅱ		2023.10	サポート要員として、非常勤実習担当教員1名の初日、2日目に実習に同行した。また、もう1名の非常勤実習担当教員が担当できない日は、相互に学生の学習状況を共有しながら実習指導を行った。
4	総合実習	○	2023.7	科目担当者とともに、科目の計画・運営を行った。円滑に総合実習が実施されるように実習ガイドを作成した。適宜、追加事項の連絡や調整を行った。

(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2023.4-12	主指導 2名	副指導 1名
2	修士論文	2023.1-2024.3	主指導 (指導教員) 1名	副指導 (指導補助教員) 2名
(5) その他				
	名称	期間	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)	
1	該当なし			
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	新任副看護師長研修	独立行政法人地域医療機能推進機構 (JCHO) 北海道東北地区・関東地区合同	ファシリテーションに関する基礎知識 (対面)	2023.6
2	認定看護管理者教育課程ファーストレベル第1回	東京都看護協会	統合演習Ⅰ (対面)	2023.6
3	認定看護管理者教育課程ファーストレベル	宮城県看護協会	ヘルスケアシステム論Ⅰ (オンライン)	2023.6
4	IPWカフェ	彩の国連携力育成プロジェクト	オーダーメイドのIPWってなんだろう?!-IPW実習を受け入れて広がる可能性- (企画・運営担当) (オンライン)	2023.6
5	専門職連携を学ぶ講座	彩の国連携力育成プロジェクト	ファシリテータ研修 (対面)	2023.6-7
6	感染管理認定看護師教育課程	沖縄県看護協会	チーム医療論 (オンライン)	2023.7
7	認定看護管理者教育課程ファーストレベル	上尾中央医科グループ	統合演習Ⅰ (オンライン)	2023.8
8	山梨県看護協会教育研修	山梨県看護協会	看護の現場で活かすファシリテータの役割 (対面)	2023.8
9	認定看護管理者教育課程セカンドレベル	宮城県看護協会	ヘルスケアシステム論Ⅱ (オンライン)	2023.9
10	専門職連携を学ぶ講座	彩の国連携力育成プロジェクト	多職種チームによる実践事例研修 (対面)	2023.10-11
11	令和5年度キャリアラダー研修	越谷市立病院	看護理論Ⅲ 論文の書き方 (対面)	2023.11
12	認定看護管理者教育課程ファーストレベル	埼玉県看護協会	レポートの書き方 (対面)	2023.11
13	令和5年度キャリアラダー研修	越谷市立病院	ファシリテーションⅡ (対面)	2023.12
14	認定看護管理者教育課程ファーストレベル第2回	東京都看護協会	統合演習Ⅰ (対面)	2023.12
15	認定看護管理者教育課程ファーストレベル	埼玉県看護協会	看護チームのマネジメント (対面)	2023.12
16	2023年度全国キャラバン研修会・ジェネラルナースの技術力を高めよう	日本看護技術学会技術研究成果検討委員会	移動動作技術のきほんと用具の活用 (対面)	2024.3
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期
1	看護人間工学会	評議員		2019.5-2025.3
2	看護人間工学会	総務委員会総務副委員長		2023.4-2025.3
3	看護人間工学会	理事		2023.4-2025.3
4	日本看護技術学会	評議委員		2020.6-2024.10
5	埼玉県看護協会	看護を考える委員会委員		2023.4-2025.3
6	さいたま市立高等看護学院	運営委員会委員		2023.4-2025.3
7	日本看護学教育評価機構	評価委員		2023.4-2024.3

8	日本保健医療福祉連携教育学会第17回学術集会	実行委員長	2023.11-2024.12
(3) ジャーナリズムでの発言			
	メディア等の名称	内容	年月
1	該当なし		
(4) その他			
	項目	相手方等	内容
1	該当なし	日本看護技術学会	日本看護技術学会誌への投稿論文査読
2	該当なし	日本看護技術学会第21回学術集会	演題査読
5. 学内運営			
	項目	内容	期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	IPE科目担当者会長	2023.4-2024.3
2	全学的委員会及びセンター業務等	専門職連携部会	2023.4-2024.3
3	全学的委員会及びセンター業務等	彩の国連携力育成プロジェクト（大学間連携運営連絡会議）	2023.4-2024.3
4	全学的委員会及びセンター業務等	彩の国連携力育成プロジェクト（職能団体との意見交換会連携企画：連携の現場取材に行こう！）	2023.4-2024.3
5	全学的委員会及びセンター業務等	教員人事委員会	2023.4-2024.3
6	全学的委員会及びセンター業務等	道学教師理事長賞選考委員会	2023.4-2024.3
7	全学的委員会及びセンター業務等	学長選考会議委員	2023.4-2024.3
8	国際交流活動	JIPWEN活動ならびにWHO協力センターに関する群馬大学との活動窓口	2023.4-2024.3
9	大学広報活動	学科説明動画作成（オープンキャンパス用）	2023.4
10	大学広報活動	壁から飛び出したトイレ手すりの開発（さいしんビジネスフェア）	2023.6
11	学科等における委員会等	看護学科長	2023.4-2024.3
12	学科等における委員会等	保健師助産師関連科目履修者選考委員長	2023.4-2024.3
13	学科等における委員会等	県立病院機構と県立大学の連携（看護）メンバー	2022.4-2024.3
14	学科等における委員会等	日本看護学教育評価機構受審プロジェクトメンバー	2023.4-2024.3
15	学科等における委員会等	看護学科ハラスメント防止プロジェクトチームリーダー	2023.4-2024.3
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
1	該当なし		